

上級ハムになる本

「上級ハム」っていったい何？

日本ハム、明宝ハムなら知ってるけどと思っているあなた！！注目です。

70 歳を超え世間からは老害と言われ肩身の狭い思いをされている、はたまたバリバリの現役で老骨に鞭打って頑張っている同僚・先輩が居るかと思いきや毎日が日曜日世間並みに「夏休みが欲しい」「Go-to-travel」「Go-to-touring」と吠えている年金生活者も居るようです。

そんな環境のなか何気なくふと本棚に「上級ハムになる本 2006.06/2 版」を見つけた懐かしく手にした 18 年前の「不合格」「屈辱」の嫌な記憶が蘇ってきた

上級ハムとは「第 1 級、第 2 級アマチュア無線技士」の俗称のことです。

当時とは違い今日においては十分な時間、余裕、環境もあることから再挑戦すべく本屋にて「第 2 級ハム国家試験問題集」を購入し早速 D-day までの schedule を立案した。

R06.08 月期の試験まで 3 か月 14 週ある、そこで 2 か月 9 週で一巡、残り 1 か月 5 週で再一巡するためには問題集は法規・無線工学で 348page あるので

一巡目 2 か月間は約 40page/週、二巡目 1 か月間は約 70page/週と学習目標ができましたが 厳しい、実に厳しい 時間は十二分すぎる位ある仕事と言えればゴミ出し、回覧板、草刈り位かな？あまりにも恵まれた環境に不安さえ覚えた。

4H/日 3 か月「気力に欠くるなかりしか」「努力に恨みなかりしか」

覚えることが多く三角関数 sine、平方根 $\sqrt{\text{root}}$ 、対数 log、ピタゴラス Pythagoras 各種公式を老骨に鞭打って頑張りますが半分位忘れまた覚えなおす部屋の door には必須の Q 符号略語、割り当て周波数表、Morse 符号を掲示、深夜 0 時になれば FM GIFU Jet Stream を聞きそんな日々を繰り返しながら 3 か月が過ぎ D-day 当日を迎えました。

試験会場の受験生はみなさん若い 70 代は居なかったように思いました。

自己採点では「満足のいく回答ができたかな？」と思いましたが不安は残ります。

合否結果は 2 週間後に e-Mail で送付されるとのこと思い付きの短期決戦で集中力が薄れた時期もありましたがなんとか「合格」を get することができました。

10 月上旬には「無線従事者免許証(総務大臣印)」と「無線局免許状」が届きました。

Multi Band Dipole antenna を設置「電建叩いて符号を送り何処までどの様に届いた？」何が楽しい面白いと問われれば「投げた ball を打って走って Home\_in 得点歓声」何が楽しい面白い level かな

残り少ない人生ではありますが Amateur 無線 Life を楽しみたいと思います。

HAM 仲間と QSO できれば幸甚に存じます「お空でお会いしましょう」

DE\_JA6KPA/2\_TNX\_FB\_QSO\_BT\_HOPE\_CU\_AGN\_73\_TU\_VA\_E\_E

end